

## 【議題 1】美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略の 2021

## 年度評価（評価の概要）に係る事前意見

沼津信用金庫	<p>・近年の大手企業を中心とした兼業・副業の解禁に鑑み、首都圏企業に在籍する兼業・副業を希望する人材に向け、魅力ある受け入れ地域として、本地域企業との人材マッチング支援を推進・PRすることで、地方へのひとの流れの創出につなげ地方創生の取り組みに寄与できるものとする。</p>
富士宮商工会議所	<p>・新型コロナウイルス感染症関連融資に関する今後の課題として、新型コロナウイルス関連融資を受けた事業所は、感染拡大がこれほど長期にわたるとは予想せず、措置を1～2年（5年以内）にした為、返済が始まる事業所が出ており、苦慮している現状。コロナ拡大長期化にあわせて、措置期間の変更を考慮願いたい。</p>
富士宮市	<p>・富士山麓、伊豆地域など、東部地域はワーケーションのポテンシャルが高い。</p> <p>ワーケーションを定着、安定させるためには、企業との継続的な契約により実施することが受け入れ先となるワーケーション事業者の安定経営につなげていくことが大事と思われる。</p> <p>富士宮市では、大手旅行会社の協力を得て、「富士山SDGs」をテーマにした企業向けのワーケーションモデルツアーを作り、ここでしか出来ない体験やここでしか会えない人を地域資源として活用している。</p>

<p>静岡県東部地域コンベンションビューロー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部・伊豆地域がたいへん恵まれた環境にあると気づかされた。</li> <li>・ 一方で、国内他地域は様々な工夫や取り組みの試行錯誤を繰り返しており、その差は徐々に縮まってきていると考えた方がよい。</li> <li>・ 先進事例に共通している点は、稀有な人材がいて、その人を中心に廻っていて、人が人を呼び込んでいる状況にある。</li> <li>・ 恵まれた環境故なのか、そうした人材が枯渇気味で、それが最大の課題ではないかと考える。</li> <li>・ 人材は長い時間をかけて地域で育ていくほかなく、近道はない。そうした機運や土壌を少しずつ整えていく事が求められている。</li> </ul>
<p>沼津工業高等専門学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般の病気での入院をしたい患者に対して、コロナウイルス予防のため、病院に空きがあっても受け入れてくれない（受け入れできない）場合が今後増えていくと考えられるので、病院間での連携ができるよう IT 面の整備を進めるべき。</li> <li>・ 沼津駅の高架事業をいつまでもやっている友人から聞いたが、時間やお金をそこに投資することで、大きなメリットがあるのか気になった。</li> </ul>